

「県立学校の熱中症対策」の取組事例

(1) 岡山県立岡山操山中学校



・ 体育祭の際、ミストシャワーを5台レンタルし設置した。

(2) 岡山県立烏城高等学校



・ 環境省で発表される地点ごとの暑さ指数（WBGT）を、職員室に掲示している5段階別のカードで暑さ指数の周知徹底に努めている。嚴重注意や危険レベルの時は、体育や部活動の実施に注意する・SHRで生徒連絡等、対応するよう呼びかけている。
※暑さ指数を表したイラストは本校イメージキャラクター「八咫鳥（やたがらす）」であり、美術科職員がデザインした。

(2) 岡山県立岡山城東高等学校



- ・グラウンドについてはテントを常設（杭で固定）し、日陰を作っている。
- ・ウォータークーラーが設置されており、いつでも水分補給ができる。
- ・熱中症計を設置して、注意喚起や活動量の目安としている。



- ・体育館・武道場・アリーナなど屋内で体育や部活動を行う箇所に熱中症計を設置し、注意喚起や活動量の目安にしている。体育館に大型と小型の製氷機を設置して、アイシングや部活動の飲料用に使用している。

(3) 岡山県立倉敷古城池高等学校



- ・生徒救急法講習会において、消防署員から熱中症対策の指導を受ける。

(4) 岡山県立新見高等学校北校地



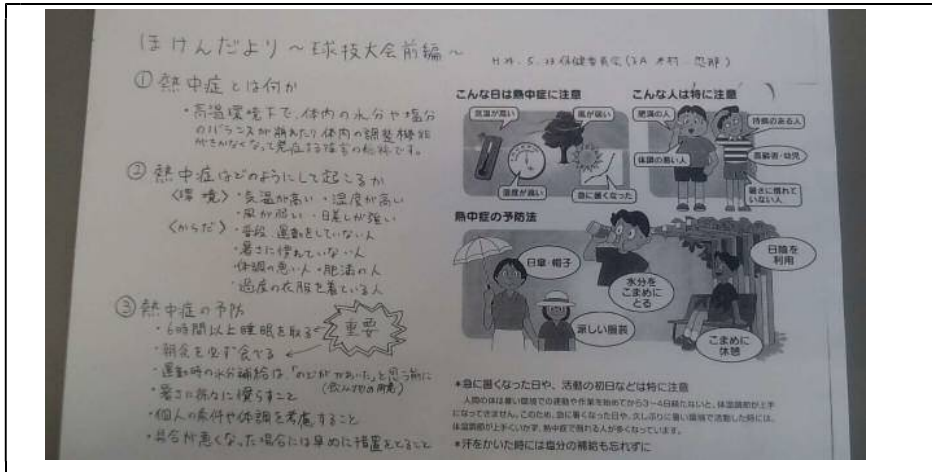
・保健委員が保健指導をSHRの時間に行った。熱中症ハンドブックを作り、配布し指導を行っている。

(5) 岡山県立真庭高等学校久世校地



・昼休みにグラウンドの熱中症指数を計測し、昇降口に掲示する。グラウンド、体育館、保健室、2、3、4階廊下も計測し、保健室前に貼り出す。

(6) 岡山県立瀬戸南高等学校



・体育行事前に保健委員が保健だよりを作成し、各クラスで熱中症の予防について説明している。
※生徒が自ら熱中症の予防について知り、行動できるよう意識させるため

(7) 岡山県立西大寺高等学校



・ 体育館での学校行事でスポットクーラー・大型扇風機を使用し、熱中症対策を行った。

(8) 岡山県立津山工業高等学校



・ 7月の期末考査後の授業日に津山圏域消防組合職員に来校していただき、本校保健委員、運動部の代表生徒、運動部マネージャー、希望者を対象に救急法の実技講習と熱中症についての講話を実施した。

(9) 岡山県立笠岡商業高等学校



・ 体育祭で、応援席に遮光ネットを張り、日陰を作った。

(10) 岡山県立総社南高等学校



- ・グラウンドの出入り口2か所（北側・東側）に、ミストシャワーを設置。
- ・ホースとパーツを購入して学校が取り付けた。劣化すれば要交換（費用10,000円程度）

(11) 岡山県立倉敷鷺羽業高等学校



- ・体育館入り口に大容量の製氷器を設置し、部活時にも自由に生徒が氷を取りに来ることができるようにしている。
- ・その他、体育教官室や保健室にも製氷器を設置している。

(12) 岡山県立瀬戸高等学校



- ・1学期末考査の最終日に、運動部より各2名ずつ（キャプテン、マネージャー等）、保健委員、体育祭の実行委員及びリーダー、JRC部員などを対象に、熱中症予防講習会を開催している。
- ・保健委員会の3年生が主体となって実施し、今年度は学校医に参加していただき、指導助言をいただく予定になっている。

(13) 岡山県立総社高等学校



- ・小冊子を作成し、SHRで生徒保健委員が保健指導を実施している。
※新見高校北校地の実践を参考にさせていただいた。

(14) 岡山県立勝山高等学校蒜山校地



- ・体育祭では、本部・係・応援席等すべてにテントを設置し、寒冷紗をかけ、できるだけ日陰を増やすようにしている。